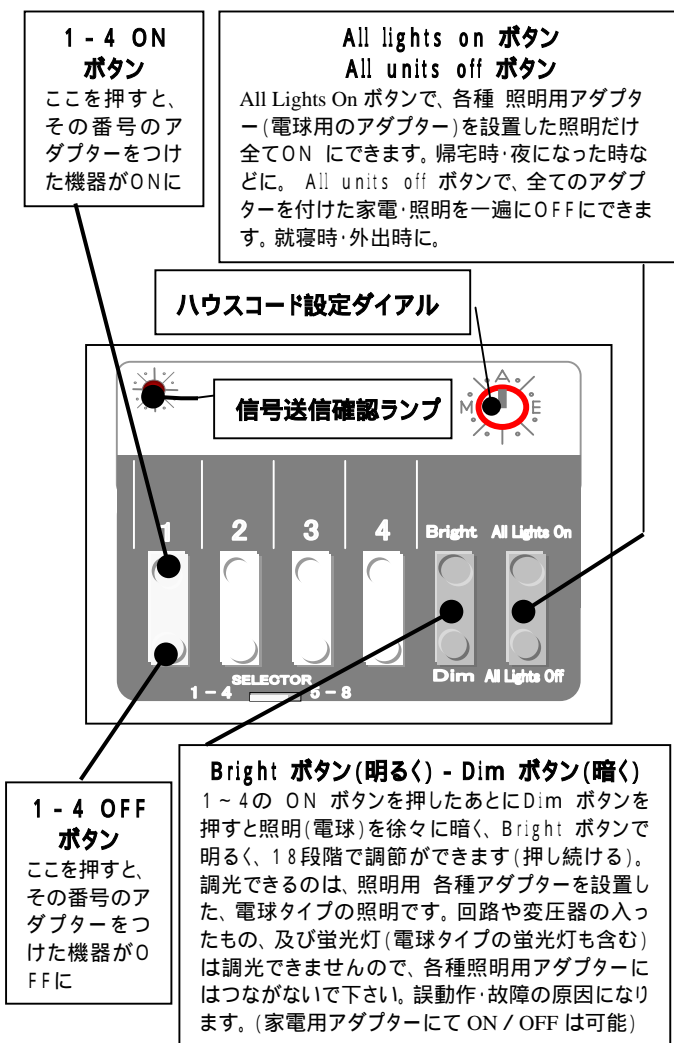


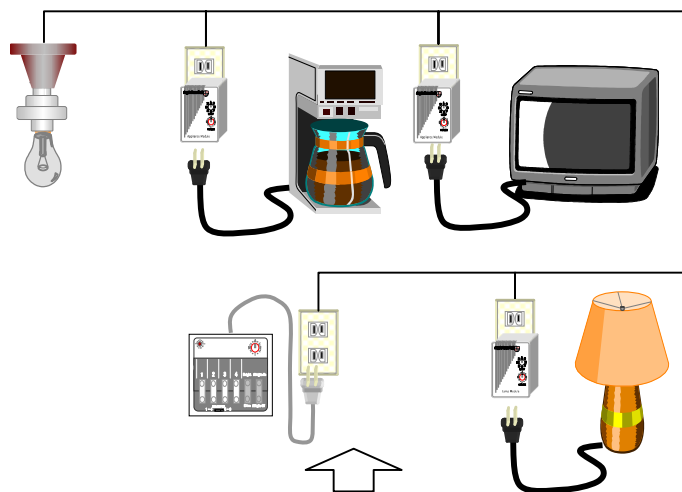
パワーライン・リモートコントロール

ミニコントローラー F7MC460 取扱説明書



下についている1-4 5 8 SELECTOR スイッチ を切り替えると、1 4 ON ボタンが 5-8 ON ボタンに、1-4 OFF ボタンが 5 8 OFF ボタン になり、合計1-8 迄の番号のアダプターをこのコントローラーで制御出来るようになります。
コントローラーの各ボタンを押すと、信号を発信した事を **信号送信確認ランプ** のLEDが点灯して知らせます。

1. コントローラーのハウスコードを設定して(A から P の一つを選んで)下さい。
2. それぞれのアダプターにユニットコードを設定します(1 から 16 まで)。コントロールしたい機器(照明、家電など)にアダプターをつけます。ハウス コードはコントローラーと同じにします。同じユニットコードを複数のアダプターにも付けられます。
3. アダプターをコンセントにさします。それで、コントローラーでどこの部屋からでも遠隔操作または照明のデミングができます。
4. 下記の製品の他、セキュリティサイレンやチャイム、タイマー機能付きコントローラーなど、便利な製品があります。



パワーライン・リモートコントロールのしくみ

操作したい家電や照明にアダプターを設置し、番号を設定します。コントローラーをコンセントに差し、“1のアダプターをON”“2の照明を調光”などの信号を、コントローラーから家中の電気の屋内配線を通じて、それぞれのアダプターへ送り、制御しています。(電力線搬送)

使用上の注意:

当製品はコントローラーと各種アダプター間のリモコン信号の送受信を屋内の交流 100V 配線を通して行っています。その為、分電盤のブレーカーで二系統以上の電灯線に分かれて配線されている場合、ブレーカーにより隔てられた配線間の信号通信が難しくなります。そのような場合は、系統間にコントロール信号のみを通す‘シグナルブリッジ’(F7SBLOC)を接続すると、ご使用できるようになります。シグナルブリッジは電気工事業者による設置が必要です。

又、電灯線内の交流電源に種々の雑音が入っている場合があります。このような場合もリモコン信号の送受信の障害になります。それらの雑音は家庭内では、古くなった蛍光灯装置や家電等から発生していることが多いです。そのような場合は、コントローラーのボタンを長めに押すか、2度押すことによってほとんど解消します。それでも動作しない場合は、かなり強力で連続的な雑音の為、その発生を止める必要があります。

目安としては、テレビ画像(得に信号が弱い局)の画面がシマシマになっているか、白いノイズが出るかです。又 AM ラジオの信号が弱い局にガーガー雑音が入る場合もあります。そのような時は、思い当たる機器を止めるとテレビ、ラジオの受信状態も良くなり、パワーラインキャリアの操作ができるようになります。雑音を出している装置の電源プラグを逆に差すと改良される場合もあります。又雑音が屋外(工場設備や建設現場等の事があります)の場合は、それらの雑音成分を消す為のF7NOISE‘ブロックングカプラー’(別売り)をご使用いただくと改善されます。

注意: 不在時に誤動作して火事や事故の原因となるような発熱性の家電や電熱機器類などには絶対に使用しないで下さい。

(株)FreeCon 〒105-0014 東京都港区芝 3-20-4
TEL 03(5443)9958 FAX 03(5444)5874
e-mail: info@freecon.co.jp
Homepage: http://www.freecon.co.jp